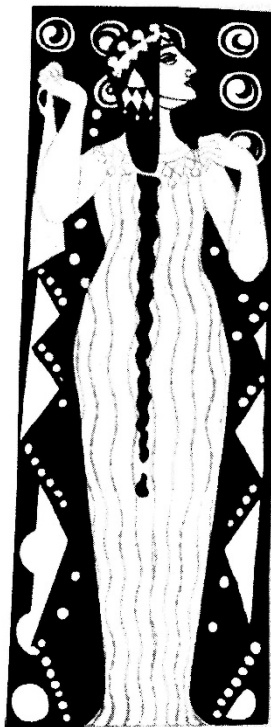


## 記念事業のための ご寄付のお願い

らいてう生誕 140 年

NPO 法人平塚らいてうの会 25 周年

らいてうの家 20 周年



平塚  
らいてうの会

題字 柳田ふき 筆

カット 『青鞥』創刊号表紙・高村智恵子 絵

## 平塚らいてうの生涯

平塚らいてうは戸籍名を明（はる）といい、1886（明治19）年2月10日東京で生まれました。日本女子大学校卒業後、女性が自由に力を伸ばすことができない社会に疑問を抱き、1911（明治44）年、女性の手による雑誌『青鞥』を発刊、「新しい女」と非難されてもひるみませんでした。年下の青年奥村博史と法律によらない結婚をして二児の母となり、第一次大戦後「母性を持つ女性の手で平和な世界を」と訴えて市川房枝らと新婦人協会を結成、消費組合や医療組合の運動にも参加しました。戦後は日本国憲法九条に共鳴して「非武装・非交戦」の主張を貫き、原水爆禁止、軍事基地反対、ベトナム戦争反対などの運動に加わるなど、「わたしたちの敵はただ戦争だけ」と訴え続け、1971（昭和46）年5月24日、85歳で死去しました。

### 特定非営利活動法人 平塚らいてうの会

〒112-0002

東京都文京区小石川5-10-20 5F

TEL・FAX 03-3818-8626

口座番号 00150-9-553046

（ゆうちょ） NPO・平塚らいてうの会

<http://raichou.c.ooco.jp>

E-mail:raichou@nifty.com

## 主な記念事業の予定

- ★記念講演会・講座の開催
- ★「音楽詩 雷鳥の歌」上演
- ★記念冊子（会と家のあゆみ）発行
- ★らいてうの家でのフェスティバル・ミニコンサートなどの開催
- ★「らいてうの家」紹介 DVD 改訂版作成
- ★らいてうの会・らいてうの家の維持及び活動のための基金積み立て



## ご寄付のお願い

らいてうの家は、光熱費や通信費、事務費、補修費、事業費などの運営費を、すべて来館者から入場時にいただく維持協力金と寄付金でまかなっていますが、それだけではどうも足りません。ご協力をお願いします。

1口 1000円

（複数口でお願いいたします）

平塚らいてう生誕140年

NPO法人平塚らいてうの会 25周年・らいてうの家 20周年

記念事業成功と「平塚らいてうの会」「らいてうの家」維持発展のため

## ご寄付のお願い

2026年は、平塚らいてう生誕140年、「NPO法人平塚らいてうの会」の発足から25年、多くの方々の賛同、ご協力で建設された「らいてうの家」オープンから20年になります。この間のみなさま方の物心両面にわたる温かく、また力強いご支援に心から感謝申し上げます。

会はNPO法人化に先立ち、らいてうと博史の思い出の地、神奈川県茅ヶ崎市にらいてう記念碑を建立、記録映画「元始、女性は太陽であった―平塚らいてうの生涯」の制作に協力しました。

そして、らいてうがかつて求めた地長野県あずまや高原に全国からの賛同募金で「らいてうの家」を建設、地元上田市と真田町（現在は上田市）の「平塚らいてうの会」とともに、らいてうの願いであった「平和・協同・自然」のひろばとしての様々な活動に取り組み多くの方々にご来館いただきました。

戦後80年の今、日本は「戦争する国」への道に深く踏み込みつつあります。「戦争だけが敵」と訴え、憲法9条に基づく世界平和の実現に向かってまい進したらいてうのこころざしを今こそ受けつぎ、生かしていくため、別記の記念事業を企画しております。

なにとぞ「平塚らいてうの会」「らいてうの家」の今後の存続発展のため、ご支援を賜りたく、ご寄付を心からお願いいたします。

2025年10月

NPO法人平塚らいてうの会

記念事業実行委員会

